Rotary
白河西ロータリークラブ
SHIRAKAWA WEST ROTARY CLUB

2024−25年度クラブ目標

『思いやりがある　感謝のロータリー』

ロータリーのマジック

2024−25年度国際ロータリーテーマ

会長　阿部克弘
幹事　十文字光伸

創立１９８６年

第1844回例会

令和7年3月6日（12:30〜13：30）

○ソング
- ●君が代
- ●奉仕の理想

○スマイルBOX
- ●阿部克弘会長（本日は、ホームミーティングの発表です。楽しみにしておりました。参加いただいた会員さんに感謝申し上げます。）
- ●十文字光伸幹事（本日はホームミーティング発表ありがとうございました。）
- ●沼田重一会員（親睦活動委員会から。ホームミーティングのご協力ありがとうございました。）
- ●金田昇会員（前回お休みしましたので）
- ●池田浩章会員（ホームミーティング第３班に出席された会員の皆様ありがとうございました。齊藤愛さん、ホームミーティング発表デビューお疲れ様でした。）
- ●鈴木浩一郎会員（結婚記念日のお花、ありがとうございました。なんだかんだと14年。楽しい15日年にしていきたいと思います。ロータリーも何年やれるかわかりませんが、少しでも長く続けられればと思います。）
- ●永野文雄会員（ホームミーティング発表者の皆様ご苦労様です。あと４ヶ月頑張りましょう）
- ●齋藤孝弘会員（お久しぶりです。）

【今週の仮メイクアップ会員】
- ●３月２日　地区チーム研修セミナー

諸橋和典、吉野敬之、十文字光伸、堀田一彦、石川格子、山縣栄寿

第2回ホームミーティング
- ●２月28日　２班

安部和夫、吉成茂、石部辰雄、高畠裕、吉成真五郎
- ●２月25日　３班

池田浩章、齊藤愛、居川孝男、十文字宗博、松永紀男
- ●２月17日　４班

斎藤孝弘、緑川直人、大竹憂子、金田昇、鈴木典雄、前原俊治、渡辺道直
- ●３月５日　６班

櫻岡敏之、村上堅二、阿部克弘、関谷亮一、沼田重一、鈴木満
- ●２月21日　７班

島田修一、中目公英、堀田一彦、佐藤幸彦、富永章、根本あゆみ

▶第184４回例会出席状況　（R7年３月６日）

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	５４名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	１９名
Ⓣ 全正会員数	７３名
Ⓒ Ⓐの出席者数	２５名
Ⓓ Ⓐのメイクアップ者数	０名
Ⓔ Ⓑの出席者数	１２名
Ⓖ＝Ⓒ＋Ⓓ＋Ⓔ（メイクアップ補填後の出席会員数）	３７名
Ⓗ＝Ⓣ−（Ⓑ−Ⓔ）	６６
Ⓘ＝Ⓖ／Ⓗ×１００（例会出席率）	５６．０％

本日のプログラム

■会長の時間　　阿部克弘会長

皆さん、こんにちは。本日も多数ご参加をいただきましてありがとうございます。お忙しい中、例会にご参集いただきましたこと本当に感謝申し上げたいと思います。さて、もう3月に入りました。私も残すところあと4か月となりました。最初は長いなと思ったんですが、だんだんと時が過ぎて来ましたが、これからも引き続き皆さんにお世話になるかと思います。地区のほうも泉田年度の準備が今、始まっております。また、クラブのほうも藤田年度に向けて準備がなされているように思います。どんどんと地区、クラブも新しい年度に向かって今進んでいるのかなというふうに思っております。本日はホームミーティングということで、時間も結構押し迫っているようですので、私も挨拶は短めにしようかなと思っております。本日のホームミーティングの発表は私自身も今日楽しみにしておりまして、どんな発表になるかワクワクしているところでございます。今回のテーマは、次年度40周年に向けて、また次々年度のガバナー輩出年度に向けての、特に新人さんの力が大変大切になってくるかと思いますので、その意味合いも含めてテーマを決めさせていただきました。どんな新人さんのお話が出るか、それも楽しみにしておりますので、どうか本日はよろしくお願いをしたいと思います。時間もあまりない様なので、会長の時間は以上とさせていただきます。本日もどうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

■幹事報告　　十文字光伸幹事

○早川ガバナー事務所：財団室NEWS　2025年３月号
○日本事務局　業務推進室：水と衛生月間リソースのご案内
○白河赤十字奉仕団委員長　安澤荘一：奉仕団員の報告

■各委員会報告

●雑誌広報渉外委員会　　瀬谷隆志委員長

それでは、雑誌広報委員会より『ロータリーの友』の読みどころをご紹介をさせていただきたいと思います。まず最初に横メニューの3月が水と衛生月間ということで「トイレが使えない恐怖」。実際に災害が起きた時にトイレが使えなくなるとどうなるのかということが書いてあります。中身を読み進めていくと、結構衝撃的な写真がありますので、ここでは差し控えさせていただきますが、実際に最近埼玉でも地面の下水道の陥没でトイレが使えないということも直近でありましたので、実際トイレが使えなくなるとこれだけ不便なことがあるんだなと。身近なものですけども意外と大切だったんだなということが思い知らされる内容となっておりました。進めていくと、15ページには2025 - 26年度のＲＩ会長の「マリオについて知っておくべきこと」ということが書いてありますので、ご一読いただければと思います。反対側、縦書きのメニューのほうに移らせていただきまして、今回私が一番読んでて夢中になってしまった内容としましては「財産と命を守る防犯マニュアル」ということで、佐々木成三さんの記事が書いてありました。この方は去年、私ＰＴＡの集まりでこの方の講演を聞いた事あるんですけども、4ページの下程にあるんですが、オレオレ詐欺が初めて発生したのが2003年らしく、2023年に特殊詐欺グループはオレオレ詐欺20周年記念だとか言ってたようなことが書いてあって、そんな詐欺などあるんだというのをちょっと思い知らされたのと、7ページの下のほうにこれもその講演を聞いた時に言っていたんですが、皆さんの知ってるを疑ってくださいということを言ってました。その時出されたのがローソンの看板なんですが3枚ほど出されまして、実際どれが本当のローソンの看板か知ってますかというのを聞かれて、自分の中ではこれだというのがあったんですが、実際その中には答えはなかった。この中に答えがあると思い込むことによって、勝手に脳がそういう抽象的な部分しか見てないことを補ってしまうような、そこが詐欺のつけ込む隙だということを仰っていました。その次のページになりますと、上段の左端のほうに「人間は無自覚に先入観を持つ」この事もお話当時されていて、結局人間は普段だったら冷静に判断できる

ことが、プレッシャーをかけられたりとか決断を急がれてしまうと、当然に答えられることを答えられなくなってしまう。そこは偏見とか先入観とか、そういったところが詐欺がつけ込む隙だということを強く仰ってましたので、その内容が今回の記事に載っておりますので、皆さんご一読いただいて詐欺とか引っかからないように気を付けていただきたいなというふうに思います。

■本日のプログラム

●親睦活動委員会　　沼田重一委員長

皆さん、こんにちは。親睦活動委員会のほうからでございます。今日はホームミーティングの報告ということでお願いしてあります。まだ終わってない班もあったもんですから、今日は、2班、3班、4班、6班、7班ということで、5班やりたいと思います。時間は6分を目途に6分以内でひとつお願いしたいと思います。遅くなりましたけども、ホームミーティングの活動に対して皆さんのご協力ありがとうございました。そして、班長、書記になった方、大変ご苦労様でございました。

●第2班　　吉成茂会員

皆さん、こんにちは。2班のホームミーティングの報告をさせていただきます。書記の吉成と申します。よろしくお願いします。2班は、2月28日に「赤門」にてホームミーティングを開催いたしました。その時の参加していただいた会員が、安部さん、石部さん、高畠さん、吉成さん、そして私が集まって開催をさせていただきました。私、正直ホームミーティングも今回の報告も含めて初めてなので、何もわからない中だったんですけども、高畠さんがいろいろと手伝ってくれまして無事開催することができました。その時にパソコンも持参したんですけども、パソコンを持参しながら皆様の一言一句書きとめていたんですが、安部先生からそこまでやらなくていいと言われたのでパソコン閉じました。パソコンを閉じて皆様と食事をしながら楽しんだというふうになっております。また、昨今コンプライアンスが厳しいようですので、今回の報告にもコンプライアンスに引っかからないような報告したいというふうに思っておりますので、よろしくお願いします。テーマ1なんですが、西ロータリーに入会した動機と今後の活動方針というところですが、西ロータリーに入会した動機が、誰かの紹介ですとか前任者からの引継ぎで入会した。私自身は父が入会してたということもありましたので、私はそういった形で入会をいたしました。今後の活動方針というのは簡単に言いますと、明るく楽しく健康にというふうな結果となりました。明るく楽しく健康にできれば、例会に毎回参加することができる。そして、若いエキスを貰い長生きをすることが今後の活動方針の一つだと安部先生が仰っておりました。次はテーマ2ですが、西ロータリーへの要望、新会員が輝けるアドバイスですが、西ロータリーへの要望というのはそこまでお話はなかったんですけども、アドバイスの話が多く、成功とか失敗談というのを話す、そして聞く場面が多いほうがいいんじゃないかというふうなお話でした。そうすることで、例会への参加率を高め、そして私も今回そうですけども、今回初めてこういう書記という役職をいただきました。やはり、こういった役職いただくことが本当にあんまり顔を出せないわたくしでございましたけども、こうやって皆様の前に顔を出すことが一番いい事じゃないのかなというふうに思っております。わたくしごとではございますが、去年白河ＪＣでの理事長をやりまして、本年度は直前理事長やっております。本年度、県の副会長もやっておりますので、本当に出れなくて大変申し訳ないんですけども、やはり皆様とこうやって顔を合わせてやっていくことが私自身にも重要だと思っておりますので、そちらも含めていろいろと頑張っていきたいというふうに思っております。以上が2班の報告となります。ありがとうございます。

●第3班　　齋藤愛会員

皆さん、こんにちは。第3班のホームミーティングのご報告をしたいと思います。私たちは2月25日に、渡部勝也会員の奥様のお店である「タントゥ」にてホームミーティングのほうを開催いたしました。わたくしごとなんですけども「タントゥ」さんは私には息子が一人いるんですけれども、授業参観の後に必ず行くお店が「タントゥ」さんということで、すごく思い出が詰まった場所でのホームミーティングとなりまし

た。参加メンバーは、池田さん、居川さん、十文字さん、松永さん、わたくし、齋藤さん、の5人でミーティングのほうを行いました。テーマ1の白河西ロータリークラブに入会した動機についてということは、私以外は皆さん青年会議所時代からのお付き合いがあった方に誘われての入会だったということで、既に強い人脈があっての入会だったということです。今後の活動抱負としては、相互理解のために自分自身の職業をしっかりと皆さんに伝えることが大事ではないか。その為には例会等で10分程度の自己紹介スピーチを行うなどの機会を設けて、自分の事、あとは他の会員の皆様の事を理解していくということが大切なのではないかという意見が出されました。また、ロータリークラブでの活動経験が豊富な会員からの新会員へのアドバイスとして、ロータリーに属することで様々な異業種の方と多岐に渡って交流し、職業奉仕を通して社会貢献できることをよく理解し参加することが大切なのではないかというアドバイスをいただきました。また、例会に出席することや委員会活動に積極的に参加することで人脈が築かれて、後々豊かな人間関係に繋がるのではないかというアドバイスもいただきました。わたくし個人としましては、今まで青年会議所等にも所属せずに直接ロータリーに入会したという経緯がありますので、お一人お一人をよく知る上でホームミーティングの場というのは大変有意義な場であり、楽しみな場にもなっております。地域の方との交流なくして事業の継続はないと思い入会を希望した私の思いもありまして、今後も例会やホームミーティングを大切に考えて参加していきたいと思っております。

●第4班　　**緑川直人会員**

改めまして、こんにちは。第4班の報告をさせていただきます。2月17日月曜日18時30分より、雪がちらつく中「サンサーラ」で開催させていただきました。班長が齋藤さん。金田さん、前原さん、大竹さん、鈴木さん、渡辺さん、あとわたくし、以上7名全員フル参加でございました。テーマ1、入会した動機と今後の活動報告ということで、順次皆さんの話をお伺いさせていただいたんですが、前原様は47歳で前職から独立して起業したが商圏が全国の為、地元に関りが少なかった。そういった時に、渡部勝也様から声をかけていただいて入会したとのことでございました。渡辺道直さんは、幅広く活動されていた祖父の影響で白河ＪＣに入会し活躍されており、社業の代替わりのタイミングで居川さんの紹介で白河西ロータリークラブに入会されたそうです。その御父上の方は祖父からＪＣ、ロータリークラブの入会を何故か止められていたようでございます。鈴木典雄会員様はＪＣ卒業後、齋藤孝弘さんの紹介を経て自主的に白河西ロータリークラブに入会されたとのことです。40周年、ガバナー輩出と大きな節目を迎えますが微力ですが全力で頑張りますとの心強い言葉をいただきました。大竹憂子会員さんは、ある会合で東京に行っていた帰り道、たまたま同席していた白河西ロータリークラブメンバーに誘われたそうです。もともと地元で様々なボランティア活動をされていたということですが、その中で普段どおり取り組んでいるボランティア活動もロータリークラブの奉仕の精神も根っこは一緒だと思うというアドバイスをいただいて、そうかと納得をされて入会されたようです。入会当初はロータリークラブは男性のイメージがあって、他の女性会員なかなか会えず若干不安があったが、経過と共に多くの女性会員と活動を共にできて安心されて現在に至っているそうでございます。齋藤孝弘さんが白河を良くしていきたいという強い思いがあり、同時に自己啓発のために何をすべきかを模索してる最中に、林様、道又様が毎日誘いに来てくれて入会を決意されたそうでございます。金田様、43歳で入会し現在29年目となるそうです。安部和夫様、吉成様、遠藤様に飯を食べに来いと誘われ、当時の会場である「はくや」で食事を重ねて入会されたそうです。その後、会員の増加に伴い会場が「サンルート白河」になったが、昼例会、夜例会のリズムになかなか慣れず戸惑ったそうでございます。当時、道又会長様の時に幹事をやったが、道又会長自らがすべてをやってくれたのでとても楽をさせていただいて、その後自分が会長した時には諸橋幹事がすべてをやってくれたので、その時も楽をさせていただいたと大変謙遜されておりましたが、とにかく人に恵まれてここまで来れたと強く仰っておりました。テーマ2の白河西ロータリークラブに対する要望と新会員が輝ける活動できるアドバイスということなんですが、入会間もなく委員長を拝命するケースが多いが手探りで活動する不安が大きかった。早い段階で委員長を経験すると、その後諸々の教えを請いにくいというお話も出ました。あと、

ＲＩの教えどおりに活動していくのは大前提ではあるが、それにとらわれ過ぎて堅苦しくなる場合もあるので、柔軟な考え方も必要ではないかということでございました。ロータリークラブの楽しみ方は人それぞれで良いと思う。それが飯でも酒でも本来の活動でも楽しんでる事が大切というお話をいただきました。

●第6班　　**村上堅二会員**

皆さん、こんにちは。それでは6班の発表をさせていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。6班のほうは、昨日3月5日、根本会員の「アジアン」のほうで開催させていただきました。班長は櫻岡さん。書記はわたくし。あとは、阿部会長、関谷会員、沼田会員、鈴木会員の6名。佐藤会員は所用があり欠席という形になりました。先に、関谷会員から日本酒を頂戴して、金田会員からはワインを頂戴いたしました。ありがとうございました。ご報告いたします。そしてまず1番、白河西ロータリークラブに入会した動機と今後の活動抱負ということで鈴木会員のほうが、湊会員からの紹介で入会。損保保険の代理店の所長として入会いたしましたということでお話しいただきました。ホテルマンとして活躍されていて、14年間活躍されてから保険代理店に入って、いろんな意味でいろんな方と交流がしたいということでこの会に入ってきたそうです。今いろんな意味でお話を聞くことも多くて楽しいことが多いというふうに言ってました。それから、自分自身のために、本当にいろんな事を感じることが多いのでありがたいというふうに言ってました。今後の方針としては、更にいろんな方と知り合いになって自分のスキルアップを上げたいと言っておりました。沼田会員は、鈴木孝幸会員からの紹介という形で、ちょっと厳しい勧誘で入会したということは聞いております。いろんな会には参加していましたが、この会は本当に経営者の方が多くいろんな意味で勉強させていただいておりますと話しておりました。決して、飲み会の回数を増やすだけのために入ったわけではありませんということだけご報告しておきますということでした。今後の抱負ですが、新人として入会時には非常に苦労いたしましたので、新人の方が苦労しないような形を進めたいなというふうに言っておりました。それから、関谷会員のほうから入会してもう39年という形になりました。ちょうど40歳の年齢の頃に、藤田会員のお父さんである弥五兵衛さんから誘われて入会いたしました。その時の気持ちというのは、どうしても白坂という形だったので、なかなか白河の方との接点がないということで、やはりどうしても井の中の蛙になりがちなので、是非この機会にこういった会に入って勉強したいなということで入られたそうです。非常にその当時は豪快な方が多かったようで、楽しかったし本当に勉強になりましたという形のお話を聞きました。今後の方針は、ロータリークラブは楽しいもんだということを周知していきたいなというふうに言っておりました。それから、阿部会長は2010年に入会いたしました。金田会長の時の入会でしたということです。福島からの転居で知り合いを増やしたくて入会いたしました。実は西クラブの前に、白河クラブさんのいろんな行事に参加していたので、白河クラブに入るのかなと思ったらお誘いが来なかったということと、あとその当時今はもう退会されたんですけども、進藤さんの奥様から誘いを受けて入会されたそうです。入会から3年間は全部出席をしましたということです。それ以降ちょっと仕事の関係で継続できていないんですけども、今後もできるだけ参加していきたいとお話してました。地元でないので、このクラブに入ってからいろんな方と会えたということが一番の良かった点かなという話でした。これが本当の自分の財産に繋がるんだなと思いましたということでありました。そして今後は、県のほうのワンちゃんの協議会の県南の会長として今やってますので、盲導犬を含めて動物愛護の啓発運動を進めたいというふうに言っております。そして、櫻岡会員の入会の動機は、藤田会員の優しくそして厳しい勧誘を受けたというふうに聞いております。偉大な諸先輩のもと、ＪＣで味わえなかったことを体験させていただきました。なによりもＪＣ以外の多くの先輩に出会えてお話を聞く機会があり、自分の人生にプラスになったかなというふうに言っておりました。そして、今後ですけども非常に職業奉仕が多い中でなかなか参加が少ないんですけども、来期は尊敬する藤田先輩が会長の年度になりますので、頑張って参加するというふうに言っております。今後については、まず参加することに努力していきたいということでお話ありました。そして最後わたくし、入会はちょっといろいろあったんですけども、ＣＫＢ野球大会の開催とバーターで入会誘われました。入会して感じたこと

は、非常に西クラブの諸先輩方が優しかったということです。普段会うとちょっと怖い感じがするんですけども、こういった会になると皆さん優しくて本当にいろんな体験をさせていただきました。そして、なかなか普通では体験できないことを随分体験させてもらいましたので、それもプラスになったと思います。そして2番のです。白河西ロータリークラブに対する要望と新会員が輝ける活動ができるアドバイス。一つあったのは要望という形なんですけど、夜の例会に参加する場合になかなかホテルの駐車場が取れないので、そこをちょっと検討していただけないでしょうかということですね。できれば夜例会は会場を変更というのもありですけども、そういうのも考えてもいいのかなというふうに思いました。それからあともう一つは、プログラムが今組まれているんですけど、会員卓話ですね。会員のいろんな形のものを理解できるためにも会員卓話を試してはいかがなものでしょうかということです。3分でも5分でもいいので、会員の現状を聞いてお話をしていただければいいのかなというふうに思っておりますということでした。それから、新会員に対するサポートです。新会員が輝けるというよりも、新会員になった時に非常に困るのは、どうやっていいのかわからないし、入った時に突然国歌が流れたりとかそういう形になるので、やはりちょっとわからないのできちんとサポートを付けるようにシステムを組むじゃないですけども、ロータリー情報委員会と紹介者の両方で新入会員をある程度きちんとサポートしていくというふうな方法を考えて進めていただきたいなというように思いました。それから、新入会員は多分現状入会すると親睦活動委員会に配属になります。親睦活動委員会で楽しいということをまず覚えていただいて、是非ともこれ以降も楽しいロータリーライフが繋げるようにという形で、そういった思いがあって配属になります。是非とも、皆さんでロータリークラブは楽しいもんだということで皆さんにご理解いただけるようにしていただければ、新入会員の方も活躍できるのかなというふうに言っておりました。それと、いろんな話が終わって雑談の中で関谷会員が、お亡くなりになりました橋本元総理と非常にじっこんの仲だったそうです。ツーカーの仲というんですか。首相官邸にも何度も遊びに行ったという話で、そういった話がその裏でいろんな秘密な話があるんですけども、そこは置いておいて卓話とかしていただければいいのかななんていうふうに思いました。それと、ここではちょっと話は出来ないんですけども、沼田会員をはじめ、各員の武勇伝、非常に楽しい思いがありました。ちょっと口には言えないんですけど。そういった意味ではそういったものもホームミーティングの場では話せるのかなというふうに思いました。最後になりましたが、根本会員の「アジアン」には非常にいろんなご配慮いただきまして、美味しい食事をいただきました。わたくしごとですけども、帰ったらちょっと2キロほど太ってまして、それはちょっと家族のほうに秘密にしたいなと思ってます。

●第7班　　**中目公英会員**

皆さん、こんにちは。私たち第7班、2月21日「アジアン」で開催をいたしました。班長に島田さん。それで私が書記で、堀田さん、佐藤さん、富永さん、根本さん、増子さんがメンバーでしたが、増子さんがその日急に風邪をひいて残念ながら欠席になってしまいました。島田会員が一番忙しい「共和」の増子君に都合を合わせてその日にしたんですが、残念ながら増子君が具合悪くて全員参加にはなりませんでした。まず初めに、ロータリークラブに入会した動機ですけれども、皆さん、それぞれの先輩から嫌だと言えないような状況で入会したというふうなことが総論です。島田さんは先程も出ましたが、会員拡大に鬼のように頑張っておられました藤田さんのお誘いで入会をなさったということです。その後、野球のほう頑張ってますけど来年の藤田さんの時にはロータリー頑張りますと言っていましたので、これから先は島田君は有力な候補になると思いますので、しっかり皆さんで使いましょう。よろしくお願いします。それから堀田さんは、藤田さんの前の入会に一番熱心だった居川先生と金田昇さんのおすすめで我がクラブに入会した。35周年の人狩りの時に狩られたというふうにはお話をなさっていました。その後、堀田君の性格で真面目にロータリー活動しているそうで、金田さんのガバナーに向けては地区に出向して財務委員会のほうでこれから先、頑張るというふうなお話をなさっておられました。佐藤幸彦さんはお父さんの佐藤春洋さんがチャーターメンバーだったので、ＪＣが終わったあと自然と西ロータリーのほうに入会をしたというふうなことであります。

これからは退会はしないけど、細く長く出席率も低空飛行でこれから長く頑張っていきたいというふうな希望を持っておられましたので、そのような形で進めていければと思っております。根本あゆみさんも強力な居川先生の人狩りにあって、あと今はなき退会してしまいました小林義勝さんのおすすめで我がクラブに入会をして、残念ながら夜の例会は出席は難しいですけど極力昼の例会のほうは参加をし、職業柄親睦は大切なのでみんなと一緒に楽しくやっていきたいというふうなお話をなさっておられました。富永さんはチャーターメンバーで、お父さんの富永健男さんが白河ロータリーの拡大委員長で西クラブを設立する時のその役目の関係上誘われたといふうなことで、それ以来ずっとロータリーに頑張っていますけど、残念ながら76歳におなりで奥様の具合も悪く、現在老々介護状態なので、僕の事は当てにしないでくれというふうに言って、今日も先程退出なさっていかれました。私は今は亡き林さんと退会なさった藤田弥五兵衛さんが急に神社に来て入れと言われて、それ以来ずっと入るような形になりました。チャーターメンバーで入った吉成さん、お父さんですけど吉成清志さんが27歳で、その次私が32歳でロータリーが一番若年で入っている記録は未だ破られていませんから、皆さん方も早めに入会なさったらいいと思います。私は稲垣顕正さんの時に実は入っていたのですが、残念ながらその時の幹事さんは私の事を入会したと登録しなかったもんですから、その次の大木さんが幹事の時の入会になってるもんですから、現在31年目をロータリー迎えてますが、実は本当は32年越えで頑張っています。富永さんと私はそのようにロータリー歴は長いもんですから、急に昔話に花が咲きまして、我がクラブのメンバーが30人代前半の時代はずっと長く続いたのですけど、その頃は本当に特色のある方々が多くて、大体やりたい事を自分でやってロータリーの名前でやって理事会は事後報告で通していた。そのくらい皆元気だったというふうなお話ですから、これから皆さんロータリーの名前でもって世の為人に為になるような活動したい場合には、あんまり理事会とか会長さんの顔色を窺わず、もうガンとやってしまってそれで世の中の為になることを後から報告するくらいの、そのくらいの意気込みでやったほうがかえって西クラブとして大きい事業が出来るんではないかみたいな話し合いになりました。大体そのくらいの話をしまして、親入会員に対する要望はこのくらい73名の大所帯になりますと、新入会員には現在はなかなか活動は活発ではありませんが、ロータリー情報委員会の方が年に何回か新入会員、5年から10年以内くらいの人たちは定期的に呼んで、ある程度ロータリーの情報を皆さんで勉強会をしつつ、親睦を組めるような会をもう少し活発にすればいいのではないのかというふうな提案が一つあったということと、やっぱり新入会員等々にはロータリーの中の役職を割り当てて、初めから委員長は難しいとしても副委員長等々の役職を必ず与えて、ある程度の仕事を割り振るのが一番ロータリーに親しめるようになるのではないかというふうな話し合いが出ました。

■地区セミナーの報告　　**山縣栄寿会員**

こんにちは。地区セミナーに参加したということで、できるだけ手短にいきたいと思います。3月2日に「郡山ビューホテル」で行われました。午後から12時半から5時15分くらいまでなんですけど。その後、私は懇親会のほうには参加しなかったんですけども、参加された会員の方には参加した方もいらっしゃいました。参加者は、堀田会員が地区運営管理委員会。吉野会員が会員増強委員会。十文字幹事が青少年奉仕委員会。石川会員が米山奨学委員会。諸橋さんが地区副幹事。わたくしがロータリー財団のほうに出席させていただきました。あと、金田ガバナーノミニーはズームで参加という形でした。大体200名程参加されたんですけども、前半が全体会議で中で分科会があって、最後報告会という形式です。大体いつもの形の流れかなと思います。この会はやはり次年度の、地区役員の研修会という形での研修会だそうです。特に大きく言っていたのが、次年度のＲＩのほうではテーマを設けないメッセージでやるということを言われました。さて皆さん、テーマとメッセージの違いは区別つくでしょうか。そのメッセージが良いことの為に手を取り合おうということだそうです。あとは単年度単位ではなくて、セリーアローリングゴールズということで、複数年計画で進めましょうというようなことで、これは昨年度も言われていたかなと思います。ですから、次年度各ロータリークラブの会長さんは私の年度だけではなく、私たちのロータリーではというふうな取り組みでお願いしたいということでした。あと、国際ロータ

リーの次期会長さんの名前は先程もございましたけども、ブラジルのサンアンドレ・ロータリークラブのマリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴということで、多分サッカーやってたんじゃないかなと思うんです。よくわかんないですけども。あとさっきも言いましたけどテーマとメッセージの意味合いの違いということで、僕なりに感じたのはテーマというのは必ずどの事業にも取り入れて、そのテーマの成果を出すために取り組むことなんだろうなと思いますし、メッセージとなるともう少しやっぱり軽くて、それを意識しながら取り組んでくださいということなのかなという気はするんです。意識してやっぱり取り組んでいくことなんだろうというふうには僕なりに解釈しました。あとは次年度の事業方針は3つありまして、ロータリーの理解を深めること、公共イメージの向上、充実した例会のの為にということで。ロータリーの理解を深めることということで、これはすべて何に繋がるかというとやっぱり会員増強です。会員増強をしきりに言っていらっしゃいました。確かに最初は入るんだけども、その後内容、中身によって1年以内とか3年以内で退会される会員も多いということで。何故その会員を増強しなければいけないのかというと、それは何か地区で会を催したい時の補助金であったり、県におりてくる補助金の額が決まってくるということなんです。そうすると、何か大きなことをやりたいといった時に補助金が少ないと、今度自分達会員のほうでお金を支出してやらなくちゃいけないということなので。だから、会員増強するためにそれぞれのロータリーでどういったその催し物をするなり、例会の在り方など考えたりしながら、先程のホームミーティングのテーマでもありましたように、新しい方もどんどんこの例会に参加していただいて、そこでいろいろな例会の良さというのを見つけ出していけば、そういうのに繋がっていくのかなというふうなことだと思います。あとやはり、もう少しライオンズクラブと比べてしまうと少しロータリーというのは弱いかなということで、広報活動の充実にも充てていきたいということをお話してました。あとは、充実した例会ということで先程も話しましたけども、やはり地区例会にもし県の本部のほうで出席する機会があれば、それぞれの委員会で何かテーマに挙げていることでもう少し細かく説明が欲しいという場合には、声かけていただければすぐ来てご説明したいということ言っていました。そうですね、後は僕もこれちょっとまだ理解不足なんですけども、ロータリーにはゾーンの区分けがあって、8年に一度行ってるんだそうです。今年の1月に行ったが変更はないということで、第1地域で1Aにあたるそうです。ところが、各県の会員数が1100人を切ると再編対象になるということで、東北地方でいうと青森と秋田県がちょっとやばかったというようなことをお話はしてました。でも、何とかギリギリ保ったということで、やはり再編されると人数も数も減るので、それが我々の資金の援助の部分にも影響してくるということに繋がってくるんです。そういった意味でやはりそれぞれの会でも努力していただいているけども、県のほうとしても努力していきたいというようなお話でした。あとは、最後に一つありました。地区大会前後の1か月、県のほうの事務局大変忙しいので、いろんな要望しないでくれということだそうです。今年は10月25、26日ですか。これは相双のほうで「ホテル丸屋グランド」というとこでやるようなんですけども。そう考えると9月末から11月末までは、県にいろんな要望はしないでくれということなので、何かある場合にはその前の段階でお願いしたいというようなことでした。

3月6日　～本日のメニュー～

・菜の花のからし和え
・ポトフ
・白身魚のフライ　しば漬けタルタル添え
・白河産こしひかり
・香の物
・水菓子